

記入例

那珂川町デマンド交通利用登録票

申込日 平成 年 月 日

| 住所 | 那珂川町 小川2814-1 | | | | |
|--|---------------|--------|----------------------------|--------|-------------|
| ふりがな | なかがわ たろう | 性別 | 男 | 生年 | 明治・大正・昭和・平成 |
| 世帯主名 | 那珂川 太郎 | | 女 | 月日 | 38年 1月 1日 |
| 自宅の電話番号 | 0287-96-2111 | 携帯電話番号 | 090-0000-xxxx | | |
| 上記以外の登録者（ご家族の記入欄） | | | | | |
| 続柄 | ふりがな 家族名 | 性別 | 生年月日 | 携帯電話番号 | |
| 妻 | はなこ 花子 | 男・女 | 明治・大正・昭和・平成 39年 1月 1日 | | |
| 子 | はなみ 花美 | 男・女 | 明治・大正・昭和・平成 3年 4月 6日 | | |
| 子 | はなたろう 花太郎 | 男・女 | 明治・大正・昭和・平成 5年 6月 1日 | | |
| 父 | なみへい 波平 | 男・女 | 明治・大正・昭和・平成 14年 9月 21日 | | |
| 母 | ふね フネ | 男・女 | 明治・大正・昭和・平成 15年 12月 11日 | | |
| | | 男・女 | 明治・大正・昭和・平成 年 月 日 | | |
| 運転手に伝えておきたいこと | | | | | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 自宅前が狭いので、通りで待っていてほしい。 </div> | | | | | |

→ 世帯主から見て、妻・祖父・祖母・孫などをご記入ください。

→ 運転手に伝えたい事項をご記入ください。

(例) 着いたらクラクションを鳴らしてほしい。

耳がとおい。 など

広報文芸

俳句

棟梁とうりょうの地声飛び交ふ日の盛り
サッカーの熱意溢れり雲の峰
白球を吸ひ込んで行く夏の空
日盛や天守閣には神宿る
万緑や奥処にひそと志士の墓
向日葵の我がもの貌に佇つ花壇

松野 大高 松竹
小砂 藤田 マス
松野 青木 俊蓉
久那瀬 堀江 直子
小川 和泉すみを
谷田 荒井 大作

短歌

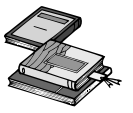
衰える視力に心いらだつも夜の日記を時かけて書く
すでに亡き隣の媪植えし沙羅四十年経て今咲き盛る
つばくらめ気忙しく鳴き飛び交ひぬ巢の無事なるや思いめぐらす
先の無き年令となり終の日を思いつばし眼をつむりある
数センチ逸れてPK外したる選手南アの大地を叩く
遠き葎むくらに混らひ難く黄を立つる反魂草は悲しみの花

和見 小高 歌子
盛泉 岡 イチエ
馬頭 五月女トミノ
小川 佐藤佳久子
小川 古沢 実
小川 郡司 喜恵

川柳

なぜだろう散歩のネコが帰らない
年金でのんびり古希も夢だった
人前で転んで痛いのに笑う
価値観が違えば悪口に変わる
世渡りがうまくできない蛙の子
似て困る大酒飲みの親譲り

谷田 岡崎 友子
大山田下郷 佐藤 有紀
小川 平澤 照雄
薬利 大嶋 克明
谷田 岡崎 甫子
小砂 笹沼 季子



新着図書

那珂川町 図書館

『祈る時はいつもひとり』



白川 道／著（幻冬舎）
バブル崩壊前、今や伝説となった仕手株「風」を動かしていた三人の男たちがいた。ひとりは謎の事故死を遂げ、ひとりは巨額の金とともに姿を消した。
残されたひとり、茂木彬は愛する女のために、失踪した親友の捜索に乗り出す。
男の誇り高きプライドを描き切った、著者渾身の感動巨編。

『歴史ドラマの大ウソ』



大野敏明／著（産経新聞出版）
大河ドラマや時代劇を見て、私たちはその内容を歴史的事実として受け止めてしまいがちです。しかし実際は、戦国時代に武士が乗っている馬はサラブレッドではなく、体高の低い在来馬でしたし、水戸黄門は全国を旅した訳でもありません。
ウソをあばけば、本当の歴史が見えてくる。真の歴史ドラマ好きに捧げる、正しい歴史の楽しみ方。

『ひとり遊びのスヌメ』



茂木健郎／著（講談社）
「苦しくて仕方がない」というのは、自分が未知のステーションに立っている証拠。意味のない痛みなどひとつもありません。脳科学者の茂木健郎が、自分がこれまで歩いてきた道をふり返りつつ、脳を喜ばせて人生をかがやかせる方法を教えます。
大人への第一歩を踏み出す十五歳に向けた、人生の大先輩たちからのメッセージシリーズ。

- ◇『天海の秘宝』 夢枕 獯／著（朝日新聞出版）
- ◇『ふたりの距離の概算』 米澤穂信／著（角川書店）
- ◇『ソフトボーイ』 関口 尚／著（ポプラ社）
- ◇『静けさを残して烏たちは』 片山恭一／著（文芸春秋）
- ◇『終わらざる夏』 浅田次郎／著（集英社）
- ◇『孤高のメス』 大鐘稔彦／著（幻冬舎）
- ◇『プラチナデータ』 東野圭吾／著（幻冬舎）
- ◇『バイバイ、ブラックバード』 伊坂幸太郎／著（双葉社）
- ◇『御菓鷹山と生きる』 美谷島邦子／著（新潮社）
- ◇『でんじろう先生のわくわく！自由研究』 米村でんじろう／監修（主婦と生活社）
- ◇『レゴブロックの世界』 ダニエル・リブコーウィッツ／著（東京書籍）
- ◇『フルーツ缶でおやつマジック』 館野鏡子／著（世界文化社）
- ◇『医者からもらった薬がわかる本』 木村 繁／著（法研）